

# 令和5年度 小・中学校教育課程研究協議会に係る各部会の改善の重点

部会名

中学校 総合的な学習の時間

## 改善の重点

- ① 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にし、指導計画を作成すること。
- ② 総合的な学習の時間と各教科等との積極的な関連を図りつつ、探究的な学習の過程（課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現）が発展的に繰り返されるようにすること。
- ③ ICT の特性や強みを踏まえ、探究的な学習の各過程における学習の質を高めるよう、1人1台端末の積極的な活用を進めること。

## 1 設定理由

総合的な学習の時間は、探究的な見方・考え方を働かせ、総合的・横断的な学習を通して、よりよく課題を解決し、自己の生き方を考えていくための資質・能力を育成することを目指すものであり、教科等横断的なカリキュラム・マネジメントの軸となるものである。各学校は、総合的な学習の時間での取組を通して、どのような資質・能力を育成するのか明確にし、その実現を図る必要がある。

資質・能力の育成に向けては、探究的な学習の過程を充実させることが重要であり、探究的な学習の過程において、異なる多様な他者と協働して取り組む学習活動とすること、教科等の枠を超えた横断的・総合的な学習や、生徒の興味・関心に基づく学習を行うなど、創意工夫を生かした教育活動を行うことが求められる。そのためにも、各学校において、年間指導計画や、単元など内容や時間のまとまりを見通した指導と評価の計画を作成することが重要である。

1人1台端末については、その効果的な活用が期待される。総合的な学習の時間においては、探究的な学習の特質を踏まえ、資質・能力の育成に向けて効果が上がるように、より一層計画的に取り入れることが重要である。

## 2 研究を進めるに当たって

(1) 実践に当たっては、以下の点に留意すること。

- ① 総合的な学習の時間を通してどのような資質・能力の育成を目指すのか、全体計画を踏まえ、単元の目標や評価規準において具体的に設定した計画を作成すること。
- ② 各教科等で身に付けた資質・能力を現実の生活に関わる学習において活用・発揮することが期待されていることを踏まえ、探究的な学習の過程において各教科等との関連を明記した単元配列表の作成や活用の在り方を工夫すること。
- ③ 探究的な学習の各過程における学習の質を一層高めるため、1人1台端末を適切に活用すること。

(2) 参考とすべき資料

- ① 「今、求められる力を高める総合的な学習の時間の展開(中学校編)」文部科学省、令和4年3月
- ② 「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料」国立教育政策研究所、令和2年6月
- ③ 「StuDX Style 各教科等における1人1台端末の活用事例」文部科学省